

滑走路誤進入(Runway Incursion)防止にむけて

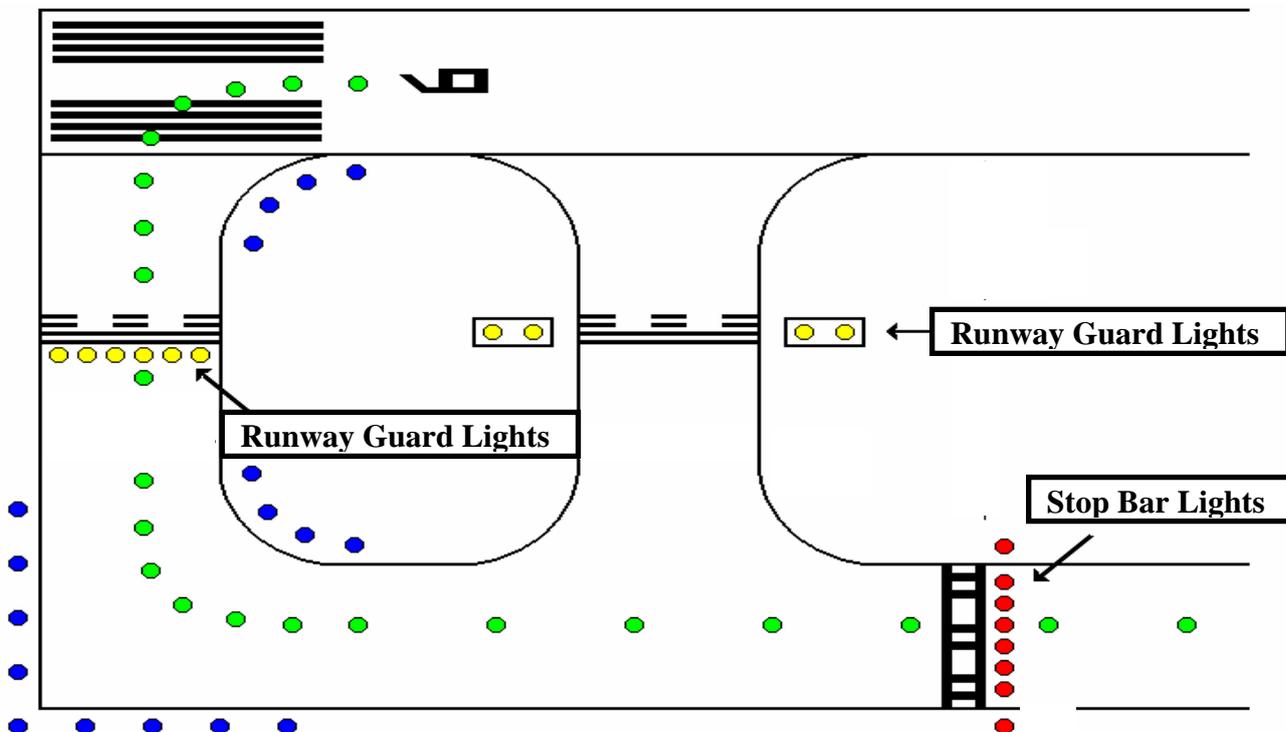
日本国内でも航空機が誤って滑走路に進入してしまう Runway Incursion が頻発しています。以前は、複数の滑走路があり膨大な交通量である海外の主要空港に多い事例でしたが、国内の交通量増加に伴い決して他人事ではなくなってきました。今後、東京国際空港 4 本目滑走路共用開始と国際線拡張などを控え、Runway Incursion の未然防止は大変重要になってきます。未然防止対策には様々ありますが、今回はよく目にする Lighting System についてご紹介したいと思います。

<Runway Guard Lights : ICAO Annex 14 5-49、滑走路警戒灯>

→黄色の灯火、埋め込み式と誘導路両脇に設置する 2 タイプある。

<Stop Bar Lights : ICAO Annex 14 5-47、停止線灯>

→赤い灯火、指向性があり、それぞれの Stop Bar は自動または手動で ON/OFF が可能。



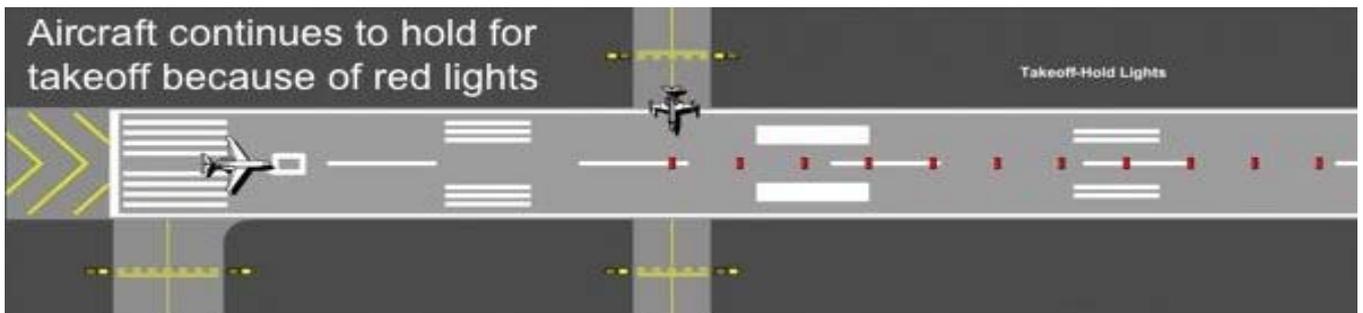
<Intermediate Holding Position Lights : ICAO Annex 14 5-48、中間待機位置灯>

→黄色の灯火、Holding Marking の 0.5m 手前に設置されている。

更に近年、FAA の Runway Incursion Reduction Program において開発され、既にアメリカのダラスフォートワース空港やサンディエゴ空港に設置されているのが Runway Status Lights (RWSL) である。RWSL には2種類の灯火があり、Take Off Hold Lights と Runway Entrance Lights である。

<Take Off Hold Lights>

→離陸機が In to Position でかつ他の航空機や車両が滑走路を横断している、もしくはしようとしている場合に赤い灯火で離陸不可の状態を示してくれる。赤い灯火は滑走路中心線灯に平行に沿った形で点灯する。



<Runway Entrance Lights>

→滑走路上で離陸滑走や着陸後の Landing Roll などのように High Speed で航空機が Operation している場合に、滑走路を横断してはならない場合に赤い灯火で示してくれる。



現時点でこの RWSL は FAA 独自の装備ですが、重大な事故につながる可能性が高い Runway Incursion を防止する取り組みとして大変有効であると考えられます。国内でも国土交通省が日本での Runway Incursion の発生を受けて、平成 19 年の 12 月に滑走路誤進入防止対策検討会を立ち上げて議論した内容に、この RWSL の整備が検討事項に盛り込まれています。

AGE 委員会は引き続き Runway Incursion 防止に向けて、様々な取り組みを行っていきます。

以上

(今回のニュース閲覧に際して、日乗連 HP: www.alpajapan.org をご覧いただくと、カラーで非常に見やすくなっておりますので、そちらもどうぞご利用下さい)